

令和4年9月

令和4年	7月	～	9月期	実績
令和4年	10月	～	12月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

目 次

主要景況項目の動き.....	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移	23
* 平成15年1月以降	
〔集計資料〕	

D・I とは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

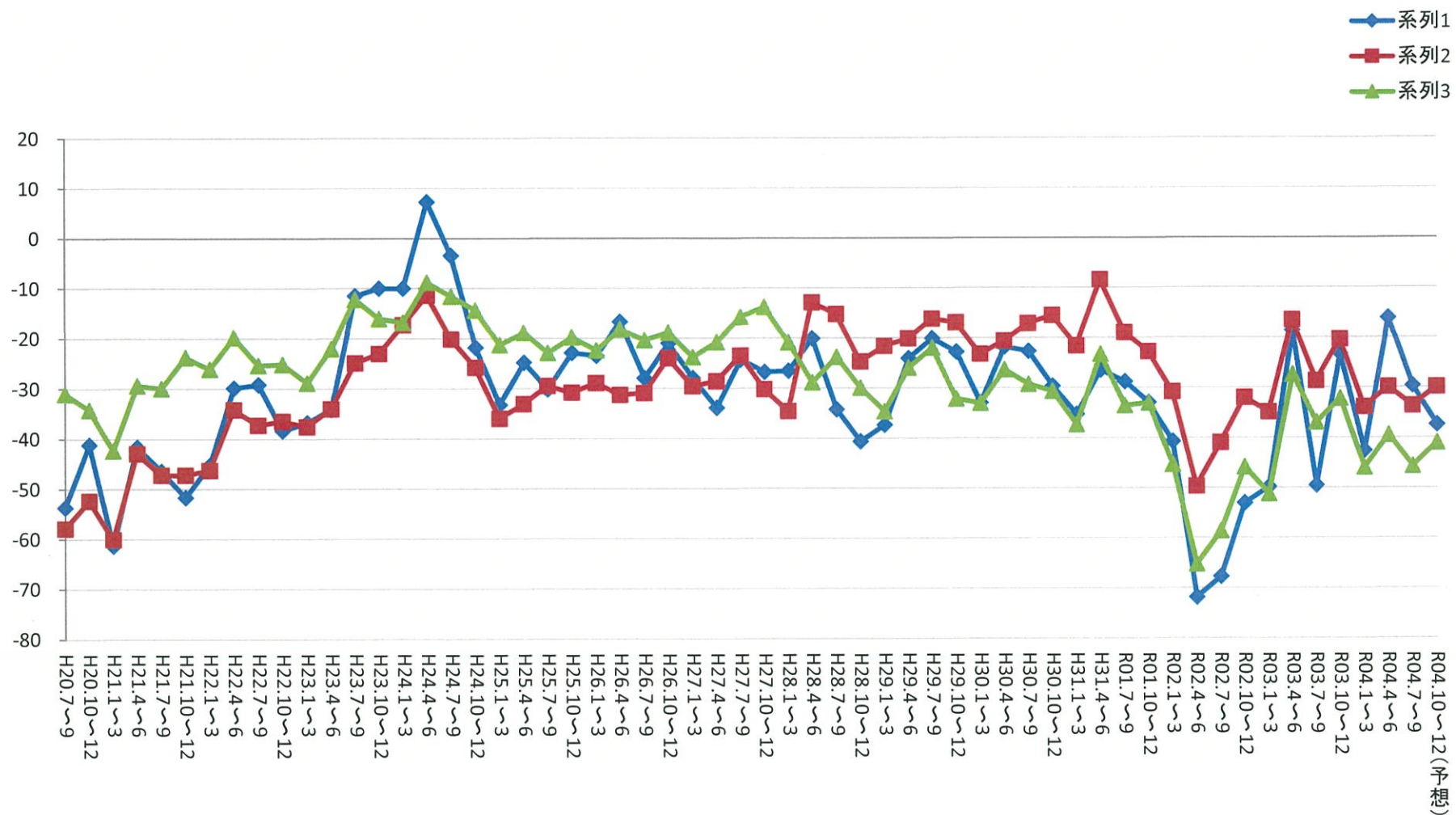
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、 $D・I = 50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[岩手県 産業全体]

主要景況項目の動き ―前年同期比―



業 況 天 気 図

期 間 業 種	令和2年 10～12月	令和3年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	令和4年 1～3月	4～6月	(今期) 7～9月	(見通し) 10～12月
製 造 業	 雨	 雨	 薄 曇	 曇	 曇	 雨	 晴	 薄 曇	 薄 曇
建 設 業	 雨	 雨	 曇	 雨	 曇	 曇	 薄 曇	 曇	 雨
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 雨	 雨	 曇	 雨	 曇	 雨	 雨	 雨	 雨

売 上 高 D I	100.0 ～30.1	30.0 ～10.1	10.0 ～△10.0	△10.1 ～△30.0	△30.1 ～△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

全産業の推移

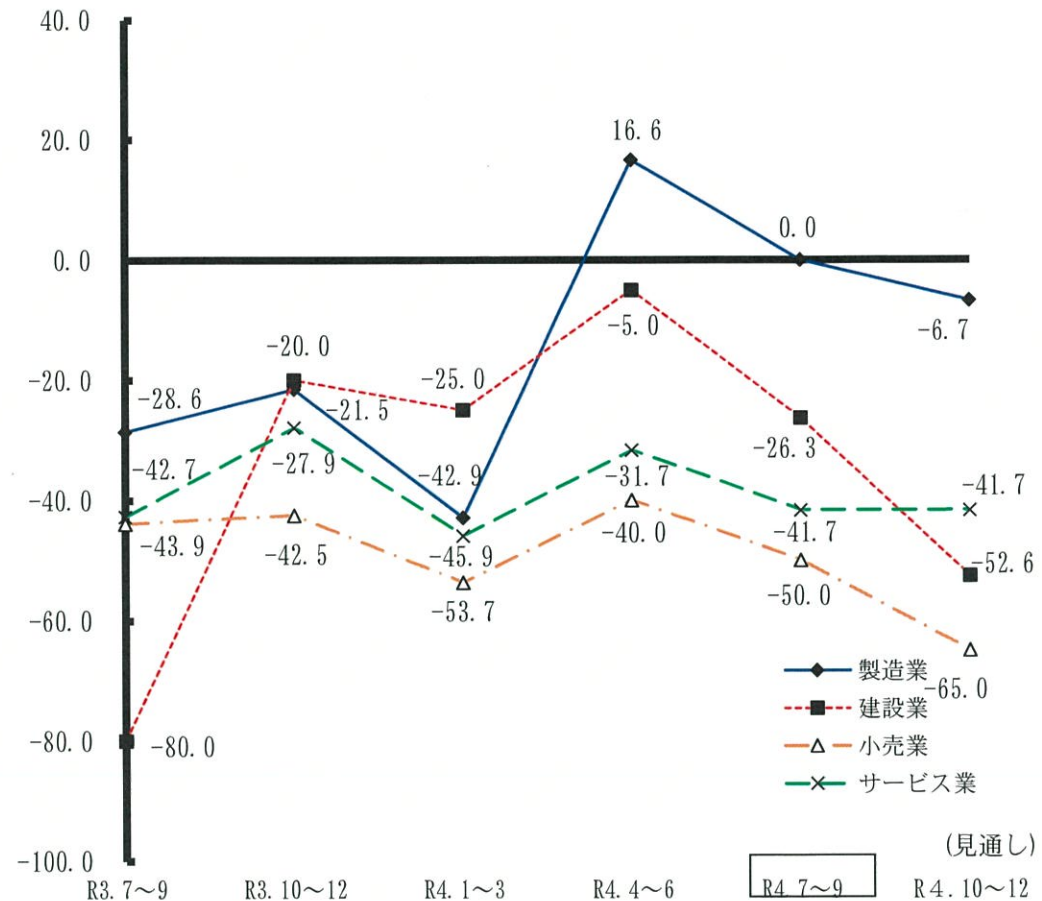
売上高

全業種において売上高D・Iが悪化
下げ幅が大きかったのは建設業

今期の売上高D・Iは、全業種が悪化となりました。特に建設業は21.3ポイントの大幅な低下となりました。次に下げ幅が大きかったのは製造業で、16.6ポイントの低下により0.0まで悪化しました。サービス業も10.0ポイント低下して△41.7まで悪化しています。また、小売業も低下して△50.0まで悪化しました。

来期は、サービス業が今期と横ばいに留まるものの、建設業は引き続き大幅な悪化が見込まれます。また、製造業、小売業も今期に引続き悪化する見通しとなっています。

※建設業の売上高は完成工事高



全産業の推移

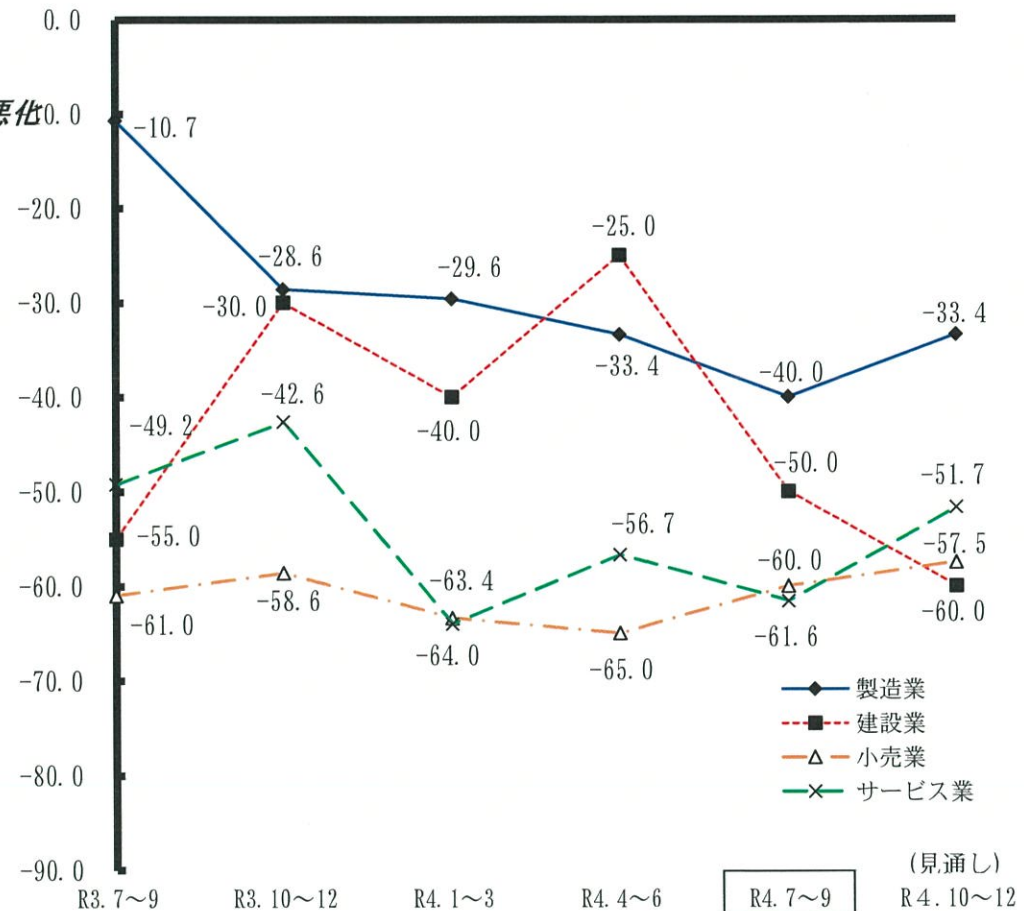
採 算

建設業・サービス業・製造業において採算D・Iが悪化
小売業が改善

今期の採算D・Iは、建設業が25.0ポイントの大幅な低下となり△50.0まで悪化しました。製造業は3期連続の低下となり、△40.0まで悪化しています。サービス業も悪化に転じ、小幅ながら3.3ポイント低下して△60.0まで悪化しました。小売業のみが改善となり、5.0ポイント上昇して△60.0まで改善しました。

来期は、今期大幅に低下した建設業が引き続き悪化する見通しですが、小売業は今期に引続き改善、製造業、サービス業の2業種も改善に転じることが予想されています。

※採算は各業種とも経常利益



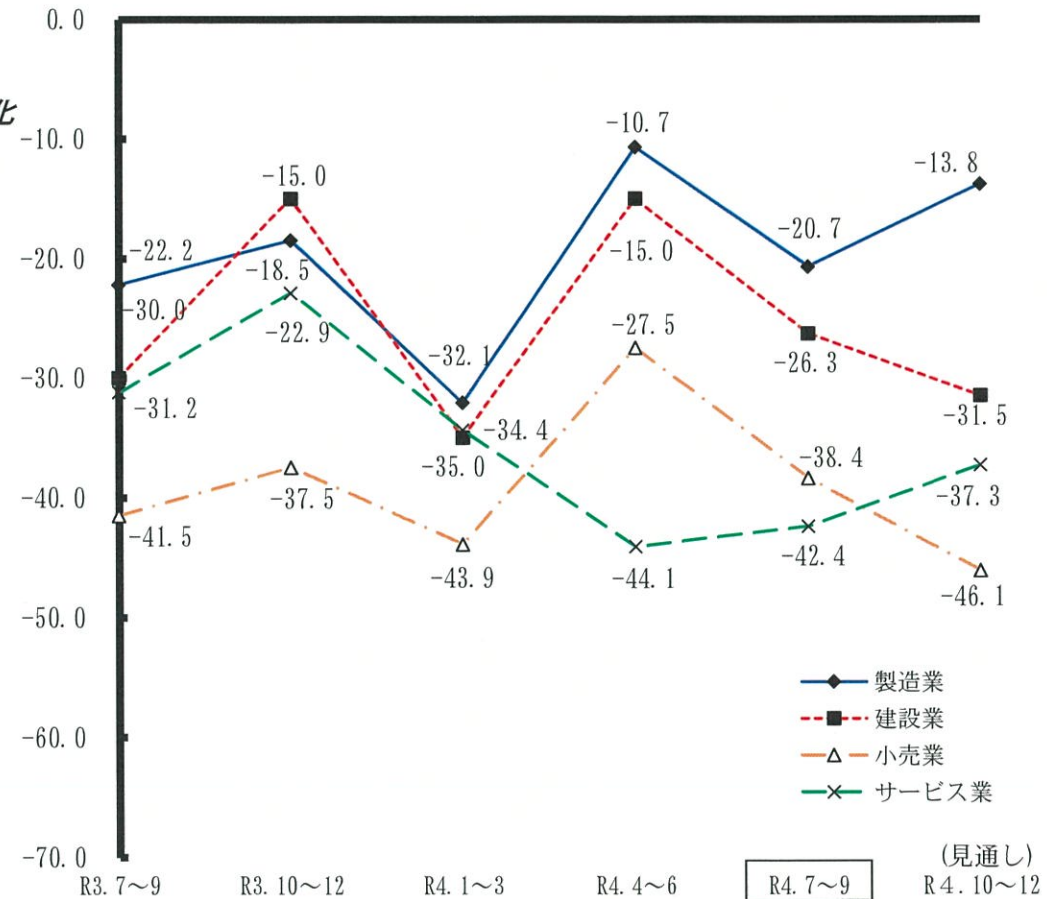
全産業の推移

資金繰り

サービス業を除く3業種において資金繰りが悪化
建設業・小売業が大幅に悪化

今期は、サービス業を除く3業種において資金繰りD・Iが悪化しました。前期大幅に上昇していた製造業、建設業、小売業が悪化に転じています。建設業は11.3ポイント低下して△26.3まで悪化しました。また、小売業も10.9ポイント低下して△38.4、製造業も10.0ポイント低下して△20.7まで悪化しています。

来期は、サービス業が今期に引き続き改善し、また、今期悪化した製造業も改善に転じる見通しです。他方、建設業、小売業においては今期に引続き悪化することが予想されます。



製造業の推移

売上高

<今 期>

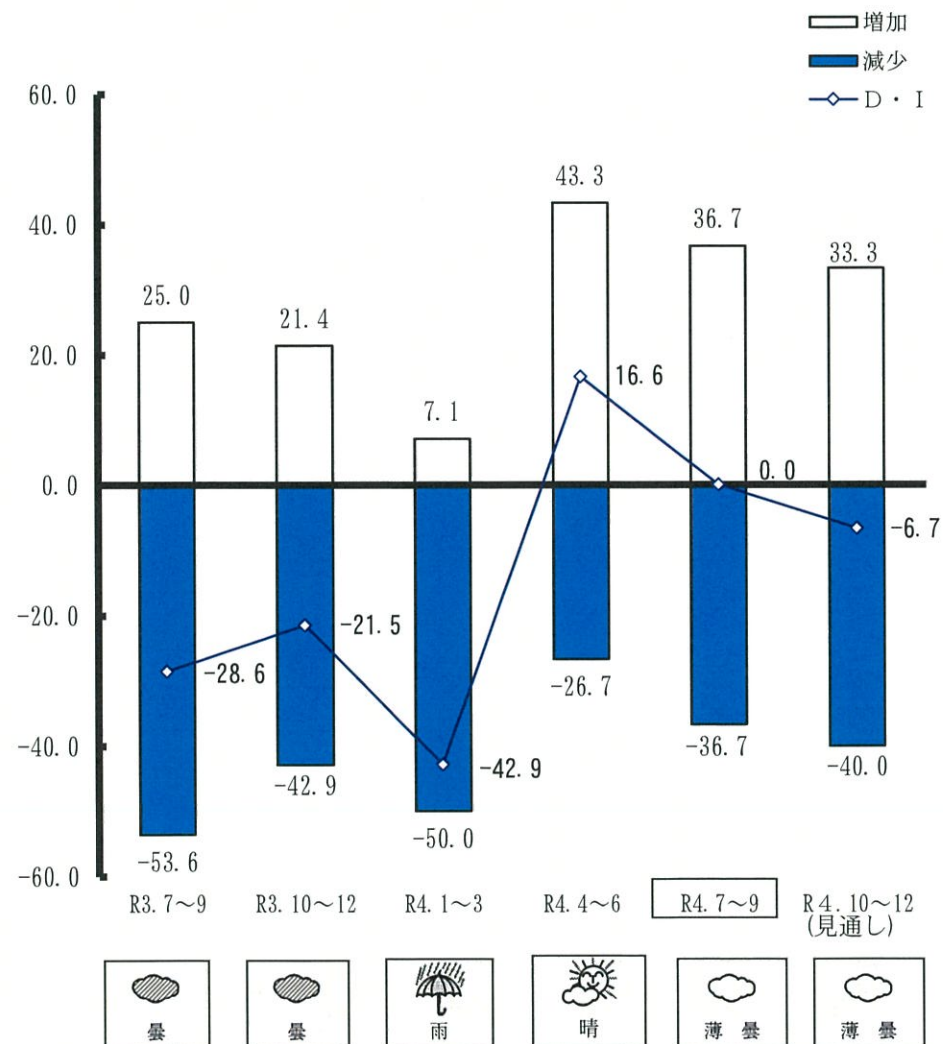


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が6.6ポイント減少し、また、売上高減少企業の割合が10.0ポイント増加したことから、売上高D・Iは16.6ポイントの低下となって0.0まで悪化しています。

来期は、売上高の増加を予想する企業割合が引き続き減少し、売上高の減少を予想する企業割合が増加することから、売上高D・Iは今期に引続き悪化傾向となり、マイナス域まで悪化する見通しです。



製造業の推移

採算

<今 期>

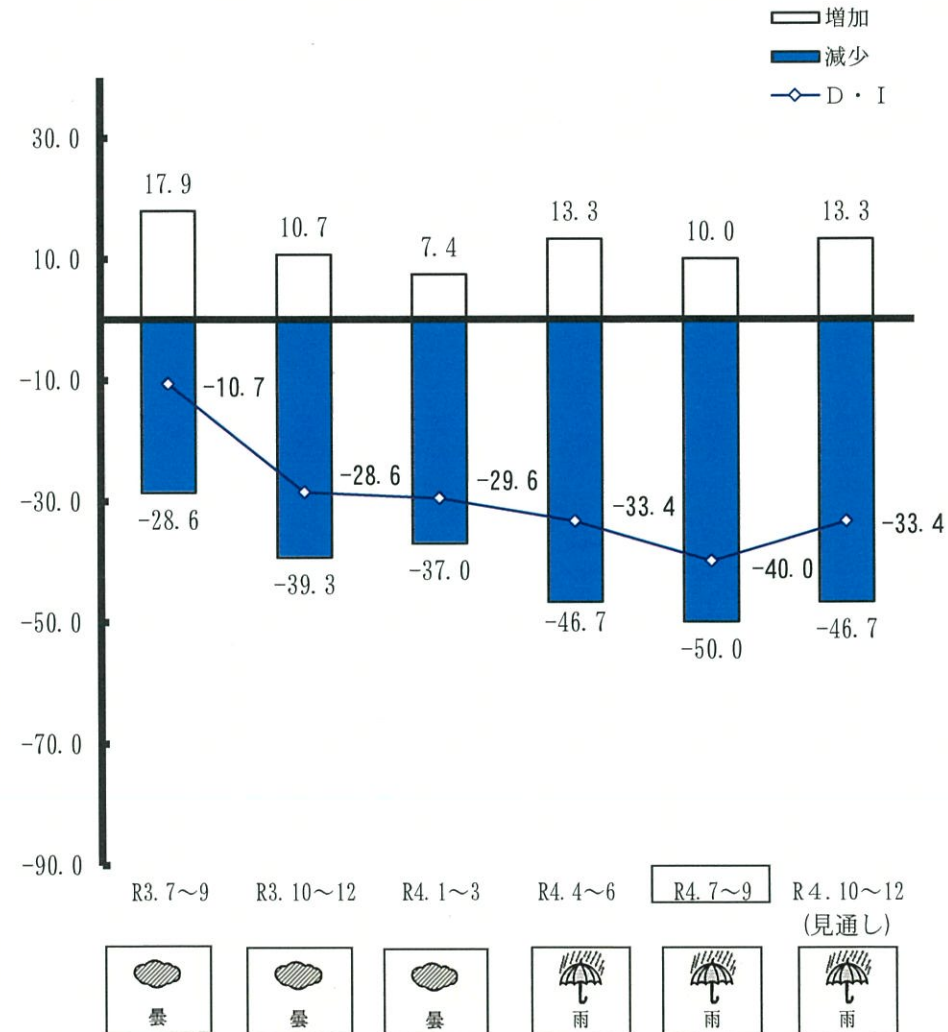


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が3.3ポイント減少し、また、採算が悪化した企業の割合が3.3ポイント増加したことから、採算D・Iは6.6ポイントの低下となり、△40.0まで悪化しました。

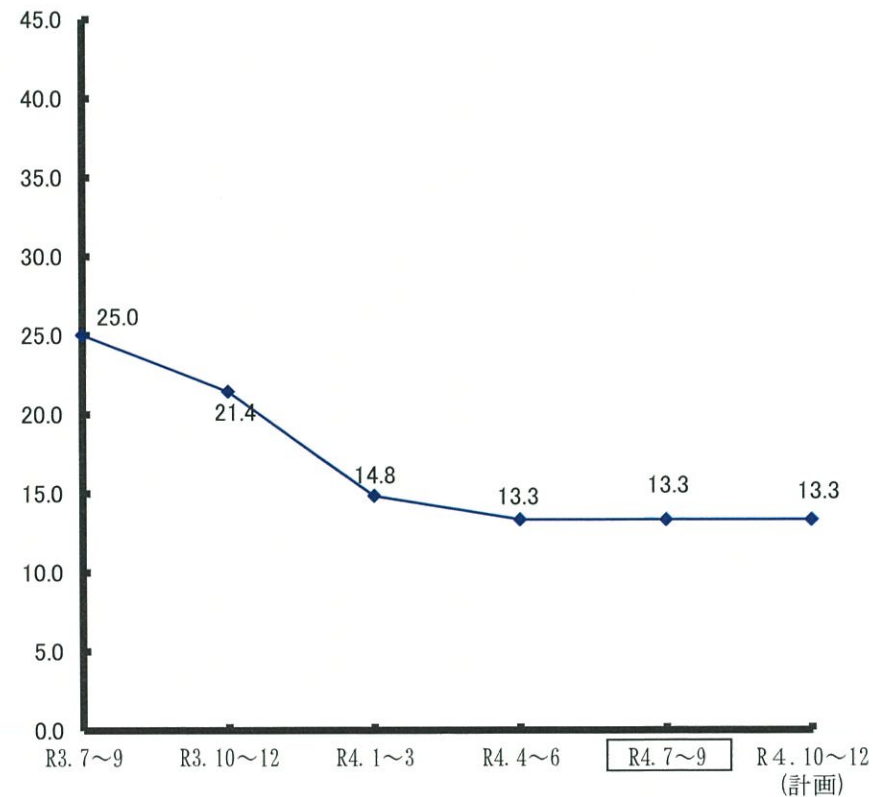
来期は、採算の悪化を予想する企業が減少し、採算の改善を予想する企業が増加することから、採算D・Iは、改善に転じることが予想されています。



設備投資

今期製造業において設備投資を実施した企業数の割合は、前期と横ばいの13.3となり、一定の数値を維持しています。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は今期と同じレベルとなることが予想されています。



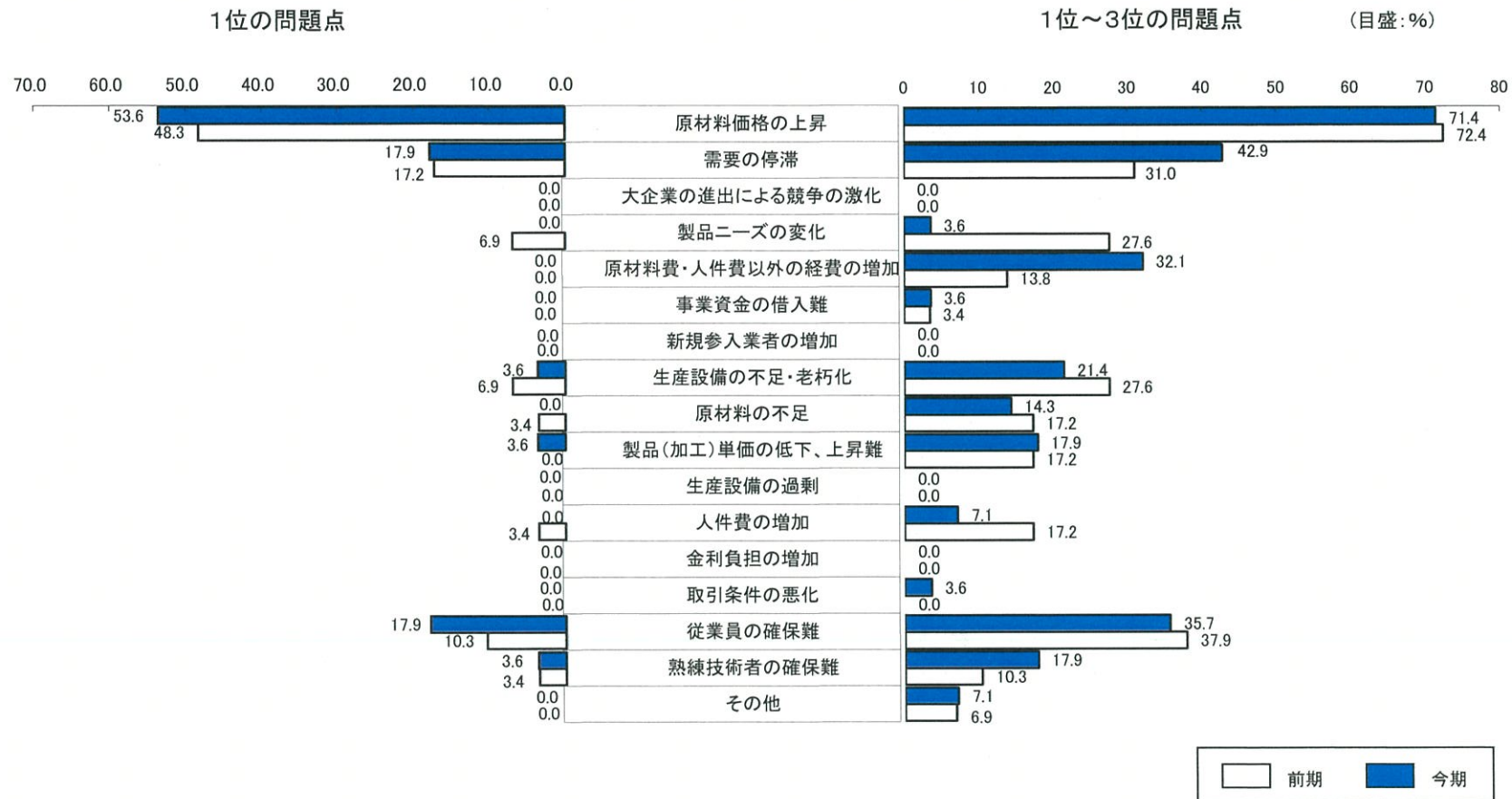
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

製造業の推移

経営上の問題点

岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



建設業の推移

売上高

<今 期>



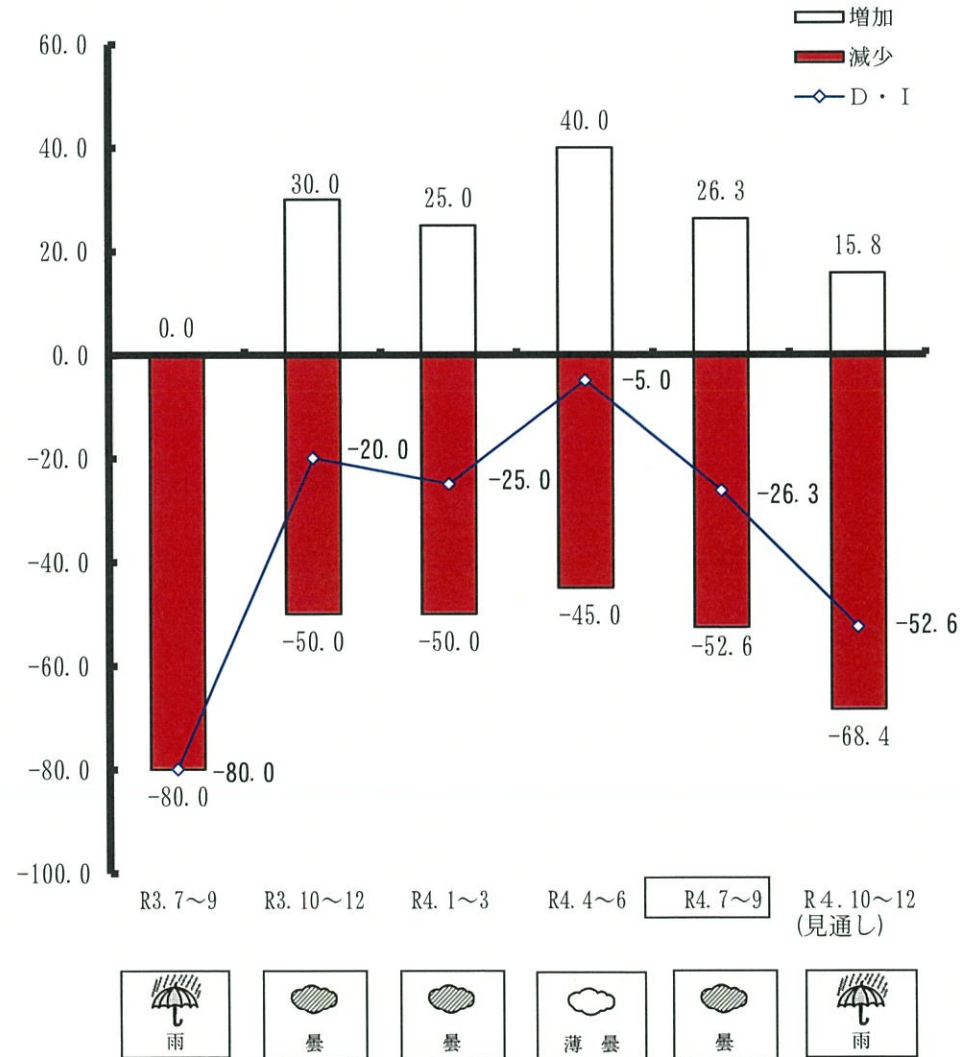
<来期見通し>



前期△5.0まで改善していた建設業の売上高D・Iは、今期は大幅に低下してマイナス幅を大きく広げました。今期は、売上高が増加した企業割合が13.7ポイント減少し、売上高が減少した企業割合が7.6ポイント増加したため、売上高D・Iは低下し、△26.3まで悪化しています。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合が今期に引続き減少し、売上高の減少を予想する企業の割合が増加するため、売上高D・Iは引続き悪化し、景況天気図も曇から雨へと変化することが予想されています。

※建設業の売上高は完成工事高



採算

<今 期>

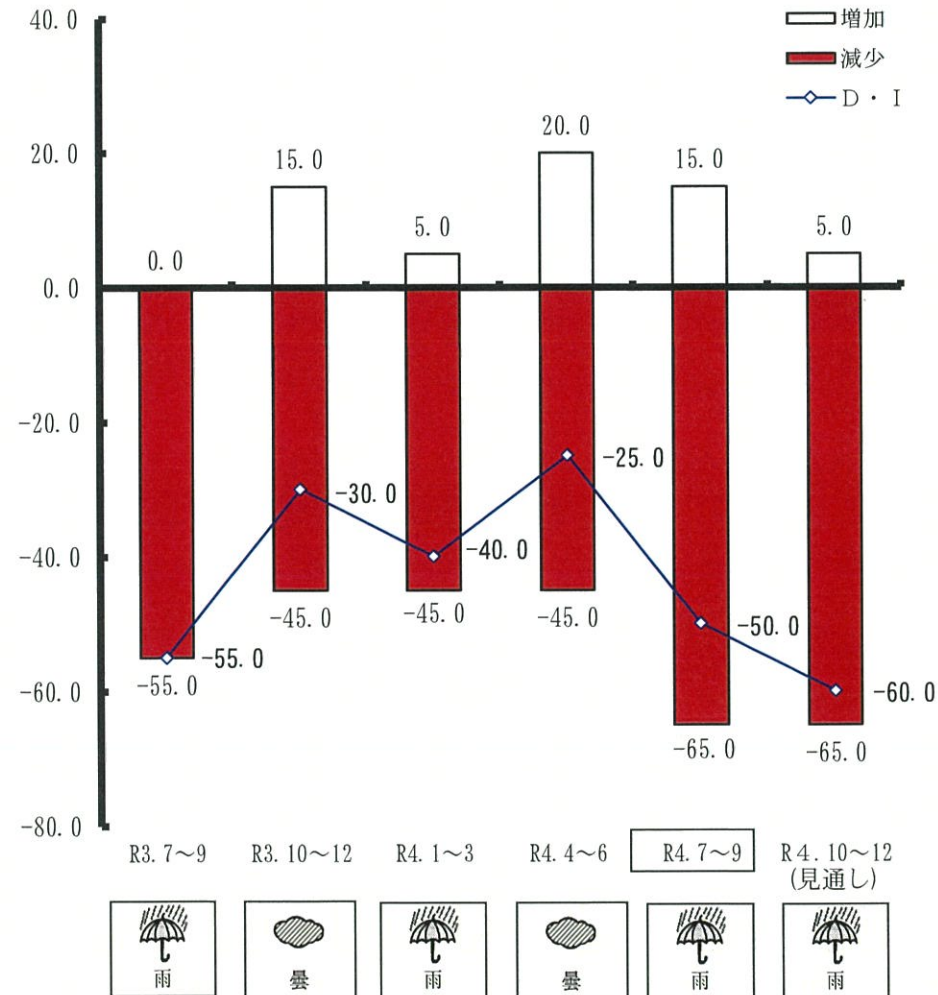


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合は5.0ポイント減少し、また、採算の悪化を挙げた企業の割合が20.0ポイントと大幅に増加したため、採算D・Iは25.0ポイントの低下となり、△50.0まで悪化しました。景況天気図も曇から雨へと変化しています。

来期は、採算の改善を予想する企業が今期に引続き減少し、また、採算の悪化を予想する企業が横ばいに留まることから、採算D・Iは引続き悪化することが予想されています。

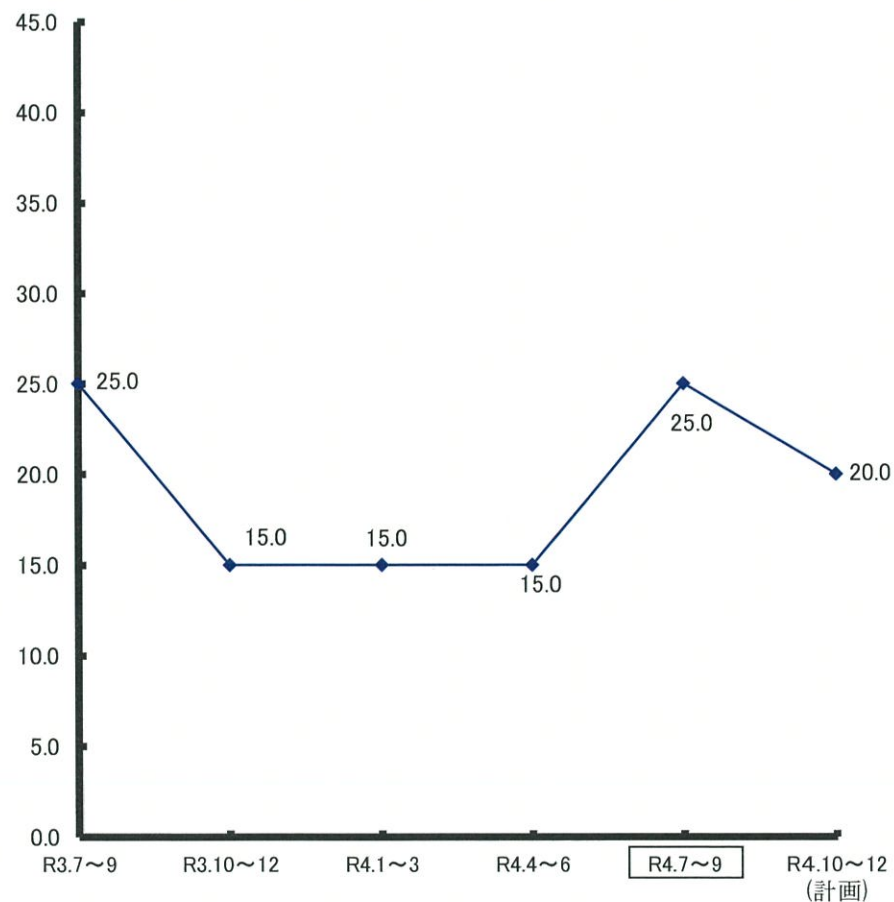


設備投資

建設業において設備投資を実施した企業数の割合は、10.0ポイント増加して25.0となっています。

来期は設備投資を実施する企業数の割合は減少に転じる見通しですが、20.0レベルの数値となることが予想されます。

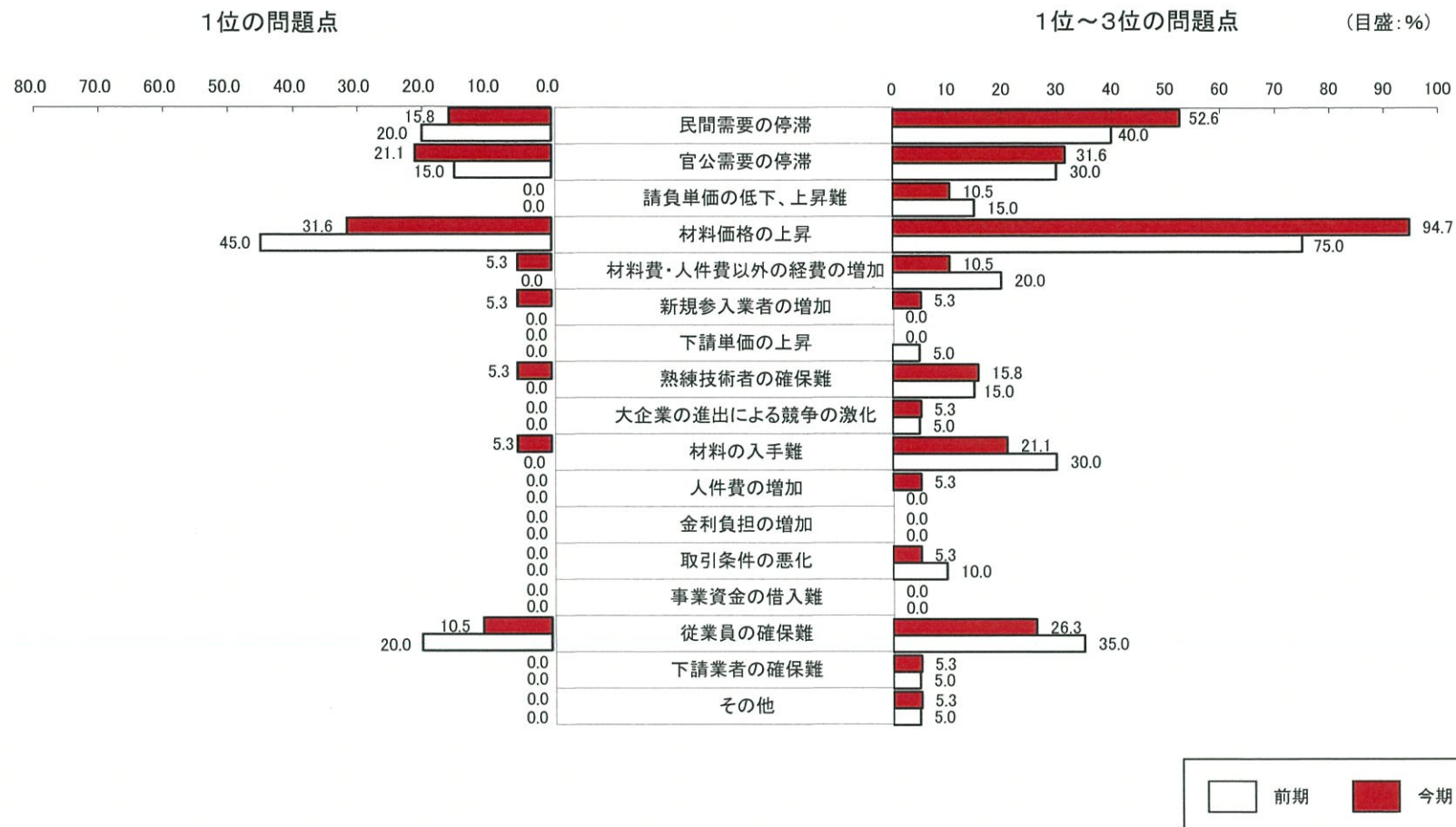
（注）この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



小 売 業 の 推 移

売 上 高

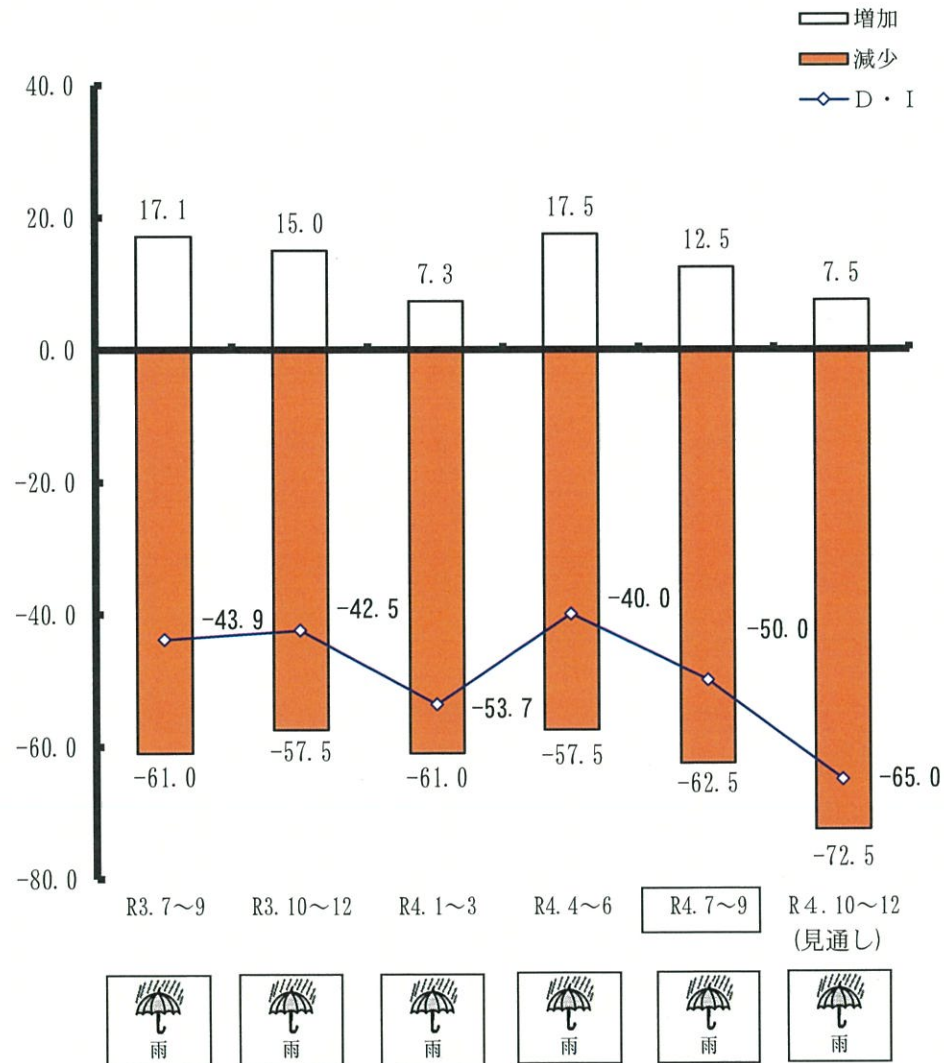
<今 期>

<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が5.0ポイント減少し、また、売上高減少企業の割合が5.0ポイント増加したため、売上高D・Iは10.0ポイント低下して△50.0となり、マイナス幅を広げ、依然として低い水準に留まっています。

来期は、売上高の増加を予想する企業割合が引き続き減少し、また、売上高減少を予想する企業割合も増加することが見込まれるため、売上高D・Iは悪化傾向が続く見通しです。



小 売 業 の 推 移

採 算

<今 期>

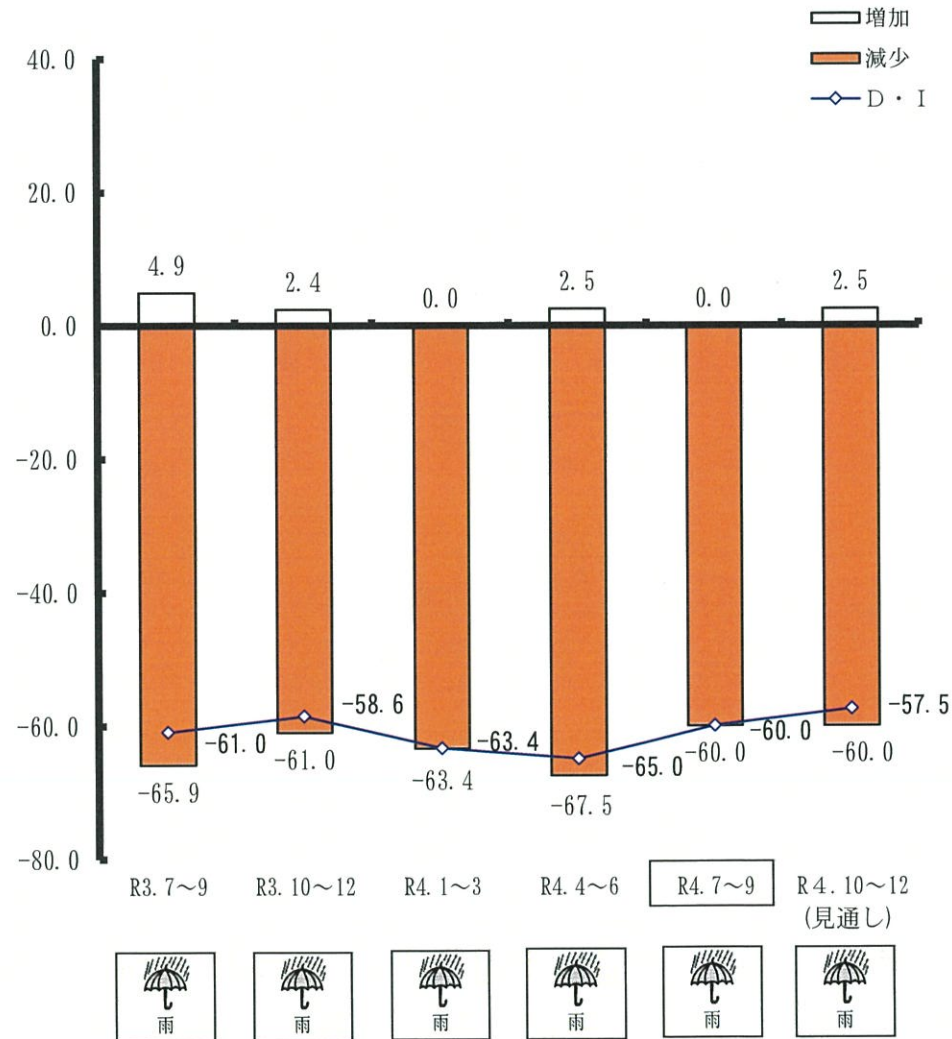


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合は0.0に留まったものの、採算が悪化した企業割合が7.5ポイント減少したため、採算D・Iは僅かながら改善しましたが、△60.0と低い水準に留まっています。

来期は、採算の好転を予想する企業割合が僅かに増加するものの、採算の悪化を予想する企業割合が今期と同じレベルとなることから、採算D・Iは僅かに改善に転じるものの、依然として低い水準にとどまる見通しです。

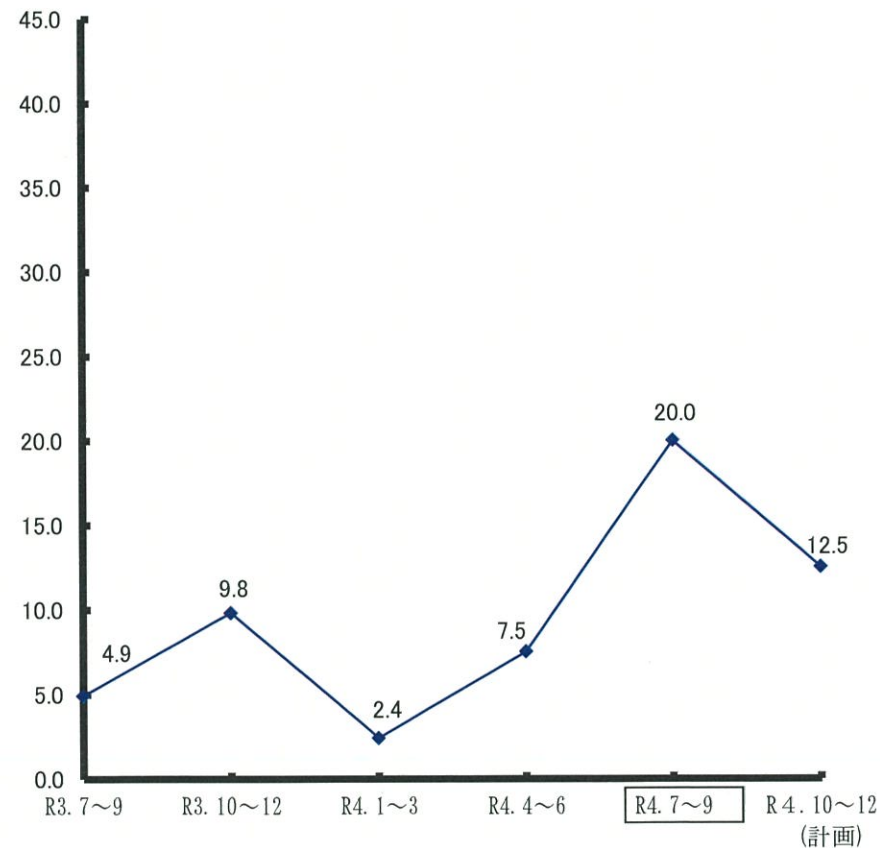


小 売 業 の 推 移

設 備 投 資

小売業において今期設備投資を実施した企業数の割合は大幅に増加し、20.0まで増加しました。

来期は、設備投資を計画している企業数の割合は減少に転じる見通しですが、一定割合の設備投資が見込まれます。



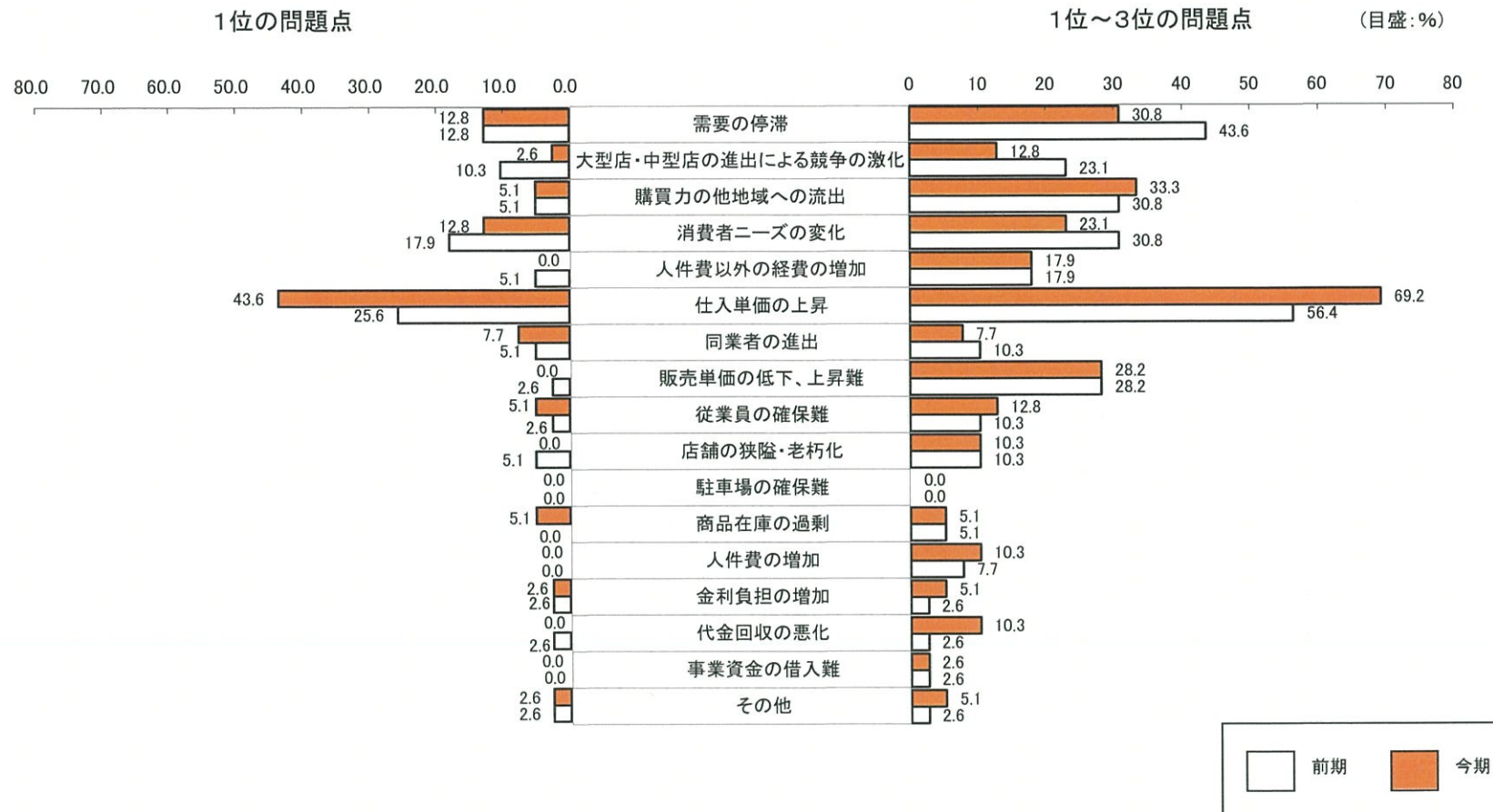
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

小売業の推移

経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



サービス業の推移

売上高

<今 期>

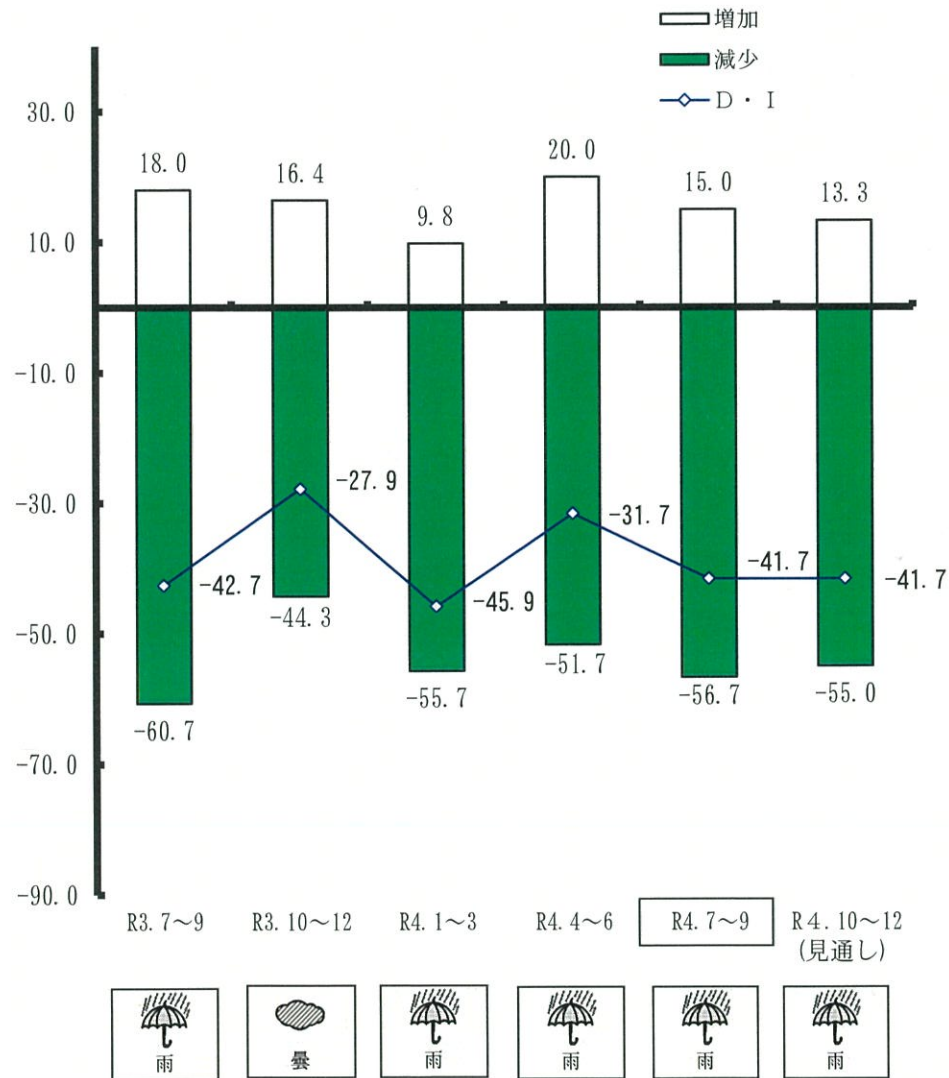


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が5.0ポイント減少し、また、売上高減少企業の割合が5.0ポイント増加したため、売上高D・Iは10.0ポイント低下し、△41.7まで悪化しました。

来期は、売上高増加を予想する企業の割合と売上高減少を予想する企業割合がほぼ今期と同じレベルとなることから、売上高D・Iは今期と同様に低いレベルに留まる見通しです。



サービス業の推移

採算

<今 期>

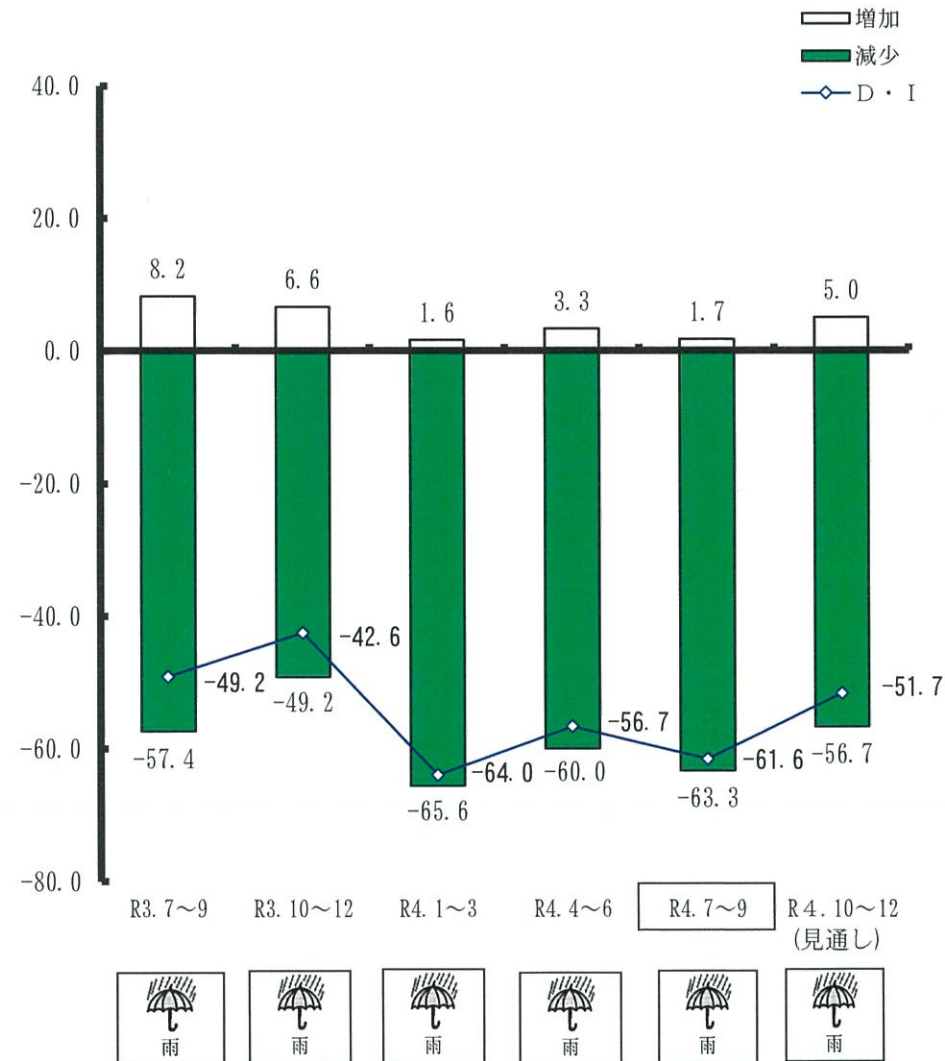


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業割合が1.6ポイント減少し、また、採算が悪化した企業割合が3.3ポイント増加したことから、採算D・Iは低下に転じ、△61.6まで悪化しました。

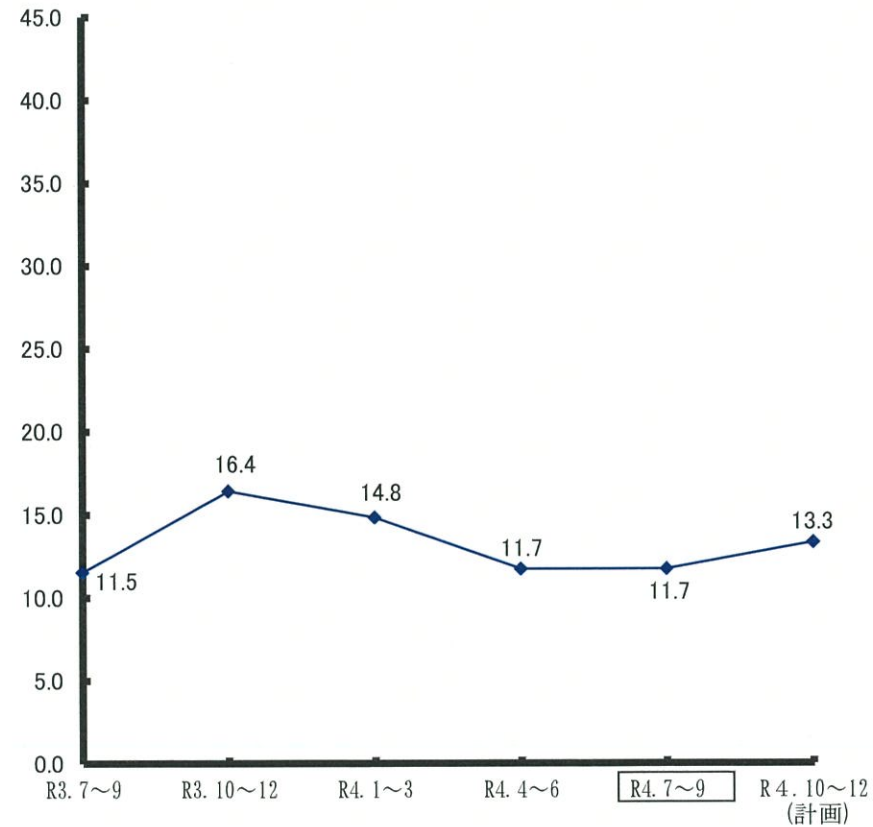
来期は、採算の改善を予想する企業割合が増加に転じ、また、採算の悪化を予想する企業割合が減少することから、採算D・Iは上昇し、△51.7まで改善するものの、低いレベルに留まる見通しです。



設備投資

今期設備投資を実施した企業数の割合は、前期に引続き減少し11.7にとどまりました。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は増加に転じ、13.3まで増加する見通しです。



(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

サービス業の推移

経営上の問題点

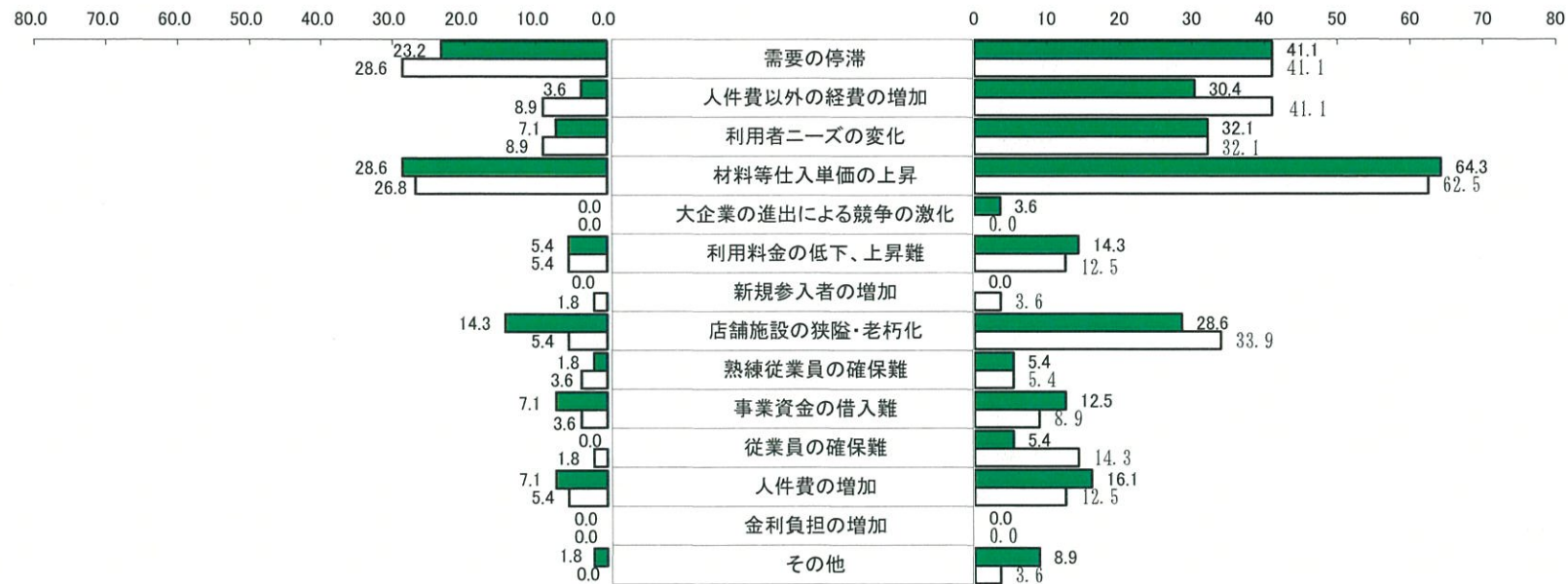
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)

1位の問題点

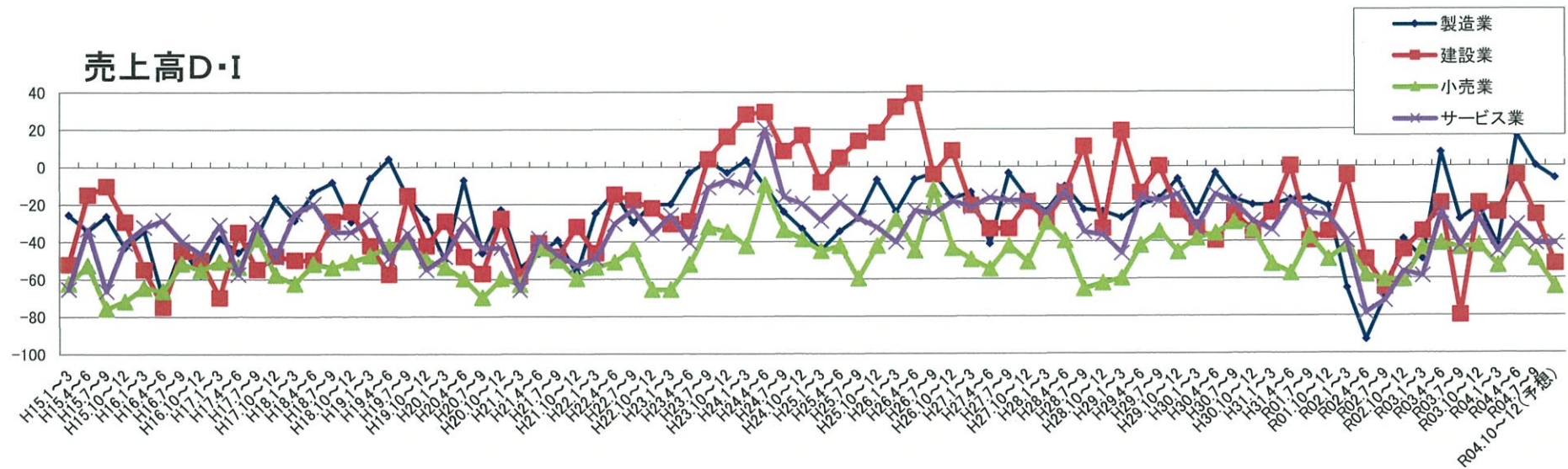
1位～3位の問題点

(目盛: %)

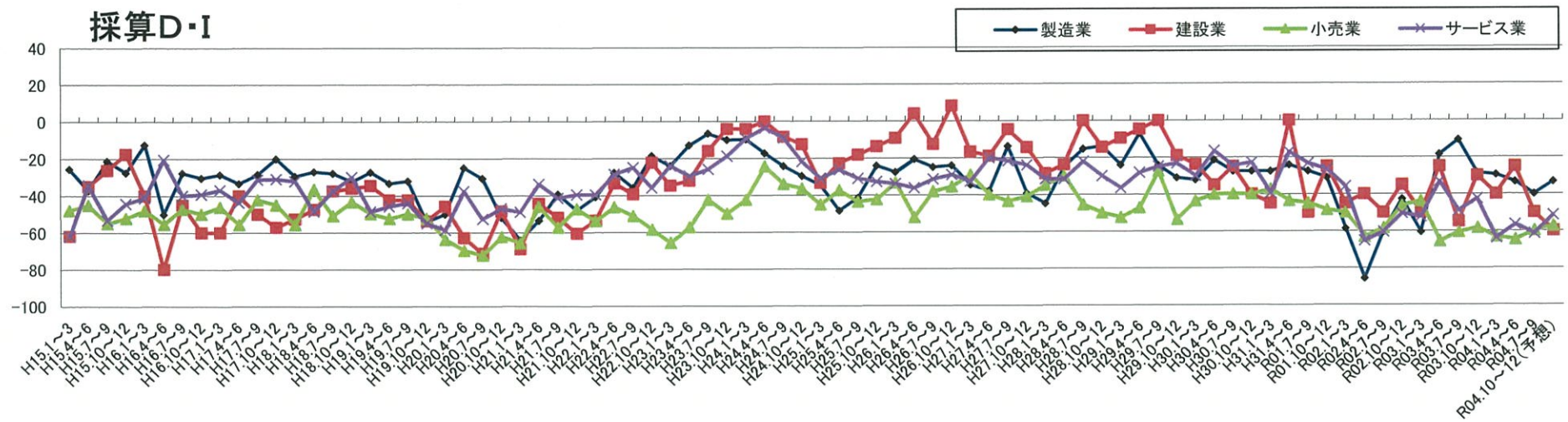


全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

売上高D・I



採算D・I



集 計 資 料

調查要項

- | | | | | |
|-----------|--|-----------|-------------------------------|-------------------|
| 1. 調査対象 | (1) 対象地区 | 県内10商工会地区 | 遠野、陸前高田、葛巻町、岩手町、紫波町
(商工会名) | 西和賀、岩泉、普代、軽米町、九戸村 |
| | (2) 対象企業数 | 150 | 企業 | |
| | (3) 回答企業数 | 150 | 企業 | |
| 2. 調査対象期間 | 令和4年7月～9月を対象とし、調査時点は令和4年9月1日としました。 | | | |
| 3. 調査方法 | (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。 | | | |
| | (2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。 | | | |

4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)		30 (20.0)	30 (20.0)	100.0
建設業		20 (13.3)	20 (13.3)	100.0
小売業		40 (26.7)	40 (26.7)	100.0
サービス業		60 (40.0)	60 (40.0)	100.0
		150 (100.0)	150 (100.0)	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比(%)を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（上昇、好転、長期化）企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものであります。